



## 三輪 眞弘 (MIWA, Masahiro)

1958年東京都生まれ。1978年に渡独、ベルリン芸術大学で作曲をユン・イサンに、1985年よりロベルト・シューマン音楽大学デュッセルドルフでギュンター・ベッカーに師事する。

1980年代後半からコンピュータを用いた作曲の可能性を探求し、特にアルゴリズム・コンポジションと呼ばれる手法で数多くの作品を発表。また、様々な分野のアーティストとのコラボレーションに加え、CD制作、著作活動など、その活動は多岐に渡る。旧「方法主義」同人。「フォルマント兄弟」の兄。

1996年より岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー [IAMAS]、2001年より情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授。

作品集CDに『赤ずきんちゃん伴奏器』(1995)、『東の唄』(1998)、『新しい時代信徒歌曲集』(2001)、『言葉の影、またはアレルヤ』(2001)、『村松ギヤ(春の祭典)』(2012)など。著書に『コンピュータ・エイジの音楽理論』(ジャストシステム、1995)のほか『三輪眞弘音楽藝術 全思考1998-2010』(アルテスパブリッシング、2010)、『配信芸術論』(アルテスパブリッシング、2023)。

### <受賞歴>

1985年 ハムバッハー国際作曲コンクール佳作

1989年 第10回入野賞1位

1991年 「今日の音楽・作曲賞」第2位

1992年 第14回レイジ・ルッソロ国際音楽コンクール1位

1995年 村松賞新人賞

2004年 第14回芥川作曲賞

2007年 アルス・エレクトロニカ デジタル・ミュージック部門ゴールド・ニカ賞(グランプリ)

2008年 アルス・エレクトロニカ ハイブリッド・アート部門佳作入選(美術家マーチン・リッチズとの共作)

2009年 アルス・エレクトロニカ デジタル・ミュージック部門佳作入選(フォルマント兄弟としての作品)

2010年 芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)

2017年 第17回佐治敬三賞(前田真二郎との共同作品)

2020年 第20回佐治敬三賞(前田真二郎との共同作品)

2020年 第52回サントリー音楽賞

